

第2期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート (令和4年度実施分)

基本目標	基本目標①「働いてよし ひおき」～安心して働ける安定した「しごと」を創出する～		
事業名	①創業支援事業	担当課名	商工観光課
事業内容	本市で「しごと」にチャレンジしたい個人等への支援を目的とした「創業セミナー」や「創業塾」(市商工会主催)を開催し、創業塾の所定の条件を満たした受講者は、特定創業支援等事業による支援を受けたことの証明を受けることができ、各種支援制度が活用できます。		

単位：円

当該年度の予算執行内容	区分	R2 (1年目)	R3 (2年目)	R4 (3年目)	R5 (4年目)	R6 (最終年)
創業支援事業補助金(創業塾等の開催)	予算額	1,500,000 最終予算額	1,300,000 当初予算額	1,300,000 当初予算額	1,300,000 当初予算額	—
	執行額	1,500,000	1,169,000	1,232,000	—	—

基本目標における 数値目標		区分		数値目標				
		市内事業者従事者数 (経済センサス)		17,060人 (H28活動調査)		⇒	17,540人 (R6)	
重要業績評価指標状況(KPI)	KPIの内容	基準値	/	R2 (1年目)	R3 (2年目)	R4 (3年目)	R5 (4年目)	R6 (最終年)
		2回	KPI	2回	2回	2回	2回	2回
			実績	2回	2回	2回	—	—
	評価(A~D)		A		A	A	—	—
	創業塾の参加者数	20人/年	KPI	20人	20人	20人	20人	20人
			実績	24人	15人	24人	—	—
		評価(A~D)		A		D	A	—
	受講者のうち創業又は 事業拡大につながった 数	4件	KPI	4件	4件	4件	4件	4件
			実績	5件	3件	4件	—	—
		評価(A~D)		A		D	A	—
当該年度の実施内容 と事業効果		日置市商工会と連携し、创业者の掘り起こしのために、創業を考えている方や創業に興味を持っている方などを対象に「創業セミナー」を開催。また、創業を本格的に考えている方や創業初期の方を対象に具体的な創業のための知識の習得を目的とした「創業塾」を開催した。【参加人数等の結果については上記のとおり。】						

取組の検証	事業実施における課題 ※ KPI達成に向けた課題や問題となっている内容について記入してください。	➔	課題に対する改善策 ※ 課題の対応策を記入してください。
	令和4年度においては、3項目全てのKPIに対して実績が100%となった。		今後も関係機関と連携を図りながら、創業希望者のニーズ等を踏まえた支援を行う必要がある。

「取組の検証(上記)」を踏まえた今後の方向性
 ※ 課題とその改善方策を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。

成果や費用対効果の向上に努めつつ継続実施

※ KPIの評価は、以下の達成状況に応じてAからDを記入する。
 A: KPIに対して実績が100%以上 C: KPIに対して実績が89%~80%
 B: 99%~90% D: 80%未満

第2期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート (令和4年度実施分)

基本目標	基本目標①「働いてよし ひおき」～安心して働ける安定した「しごと」を創出する～		
事業名	③工場等立地促進補助 (企業安定雇用創出補助金を含む)	担当課名	商工観光課
事業内容	市内に工場等を新設、増設又は移転する場合(一定の要件あり)に一定額の補助を行い企業等の規模拡大を支援します。 (企業安定雇用創出補助金:雇用に重点を置き、新增移設の企業が地元で新規雇用を行う場合(一定要件有、工場等立地促進補助との併用は不可)に補助金を交付します。)		

単位:円

当該年度の予算執行内容	区分	R2 (1年目)	R3 (2年目)	R4 (3年目)	R5 (4年目)	R6 (最終年)
①エービーフーズシステム株式会社の増設操業(R4.4.15)13,613,000円 ②株式会社省力化技研の増設操業(R3.9.14)9,096,000円	予算額	29,671,000 最終予算額	0 当初予算額	60,000,000 当初予算額	60,000,000	—
	執行額	29,671,000	0	22,709,000	—	—

基本目標における 数値目標		区分		数値目標				
		市内事業者従事者数 (経済センサス)		17,060人 (H28活動調査)		⇒		17,540人 (R6)
重要業績評価指標状況(KPI)	KPIの内容	基準値		R2 (1年目)	R3 (2年目)	R4 (3年目)	R5 (4年目)	R6 (最終年)
	企業誘致・増設件数 (立地協定件数)	1件/年	KPI	1件	1件	1件	1件	1件
			実績	0件	6件	4件	—	—
			評価(A~D)	D	A	A	—	—
	補助金交付企業に係る 新規雇用者数	5人/年	KPI	5人	5人	5人	5人	5人
			実績	10人	0人	14人	—	—
		評価(A~D)	A	D	A	—	—	
		KPI	—	—	—	—	—	
		実績	—	—	—	—	—	
		評価(A~D)	—	—	—	—	—	
当該年度の実施内容 と事業効果 ※なるべく数字(金額、人数等)を用いて記入してください。		徳重工業団地1企業、清藤工業団地1企業、伊集院地域2企業、日吉地域1企業、東市来地域1企業、吹上地域1企業の計7企業との商談を進め、全4企業(新設3、増設1)との立地協定を締結した。また市外からの本社移転が2企業となった。新型コロナウイルス感染症によるリモートワークなど企業の新たな働き方に対応するため個人誘致も含めたサテライトオフィス等の廃校を活用した整備に対して支援を行った。						

取組の検証	事業実施における課題 ※ KPI達成に向けた課題や問題となっている内容について記入してください。	課題に対する改善策 ※ 課題の対応策を記入してください。
	企業が新・増・移設するには様々な環境(適した地理、人材雇用、補助金等)が整い初めて実行される。そのため行政機関や民間企業など関係機関と連携を図りながら情報共有を行い、ニーズ等を踏まえ継続的に支援を行う必要がある。	トップセールスも含めた商談等により、企業動向を把握し、企業が求める内容に応じて民間企業も含めて情報提供を行う。また市内企業、金融機関等で組織する「日置市異業種交流懇話会」への加入を促し、会員間での情報共有を図ることで、新たなビジネスの掘り起こしにつなげる。

「取組の検証(上記)」を踏まえた今後の方向性

※ 課題とその改善方を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。

今後も引き続き誘致促進に努め、新たな企業立地及び市内企業の事業拡大(増築)に繋げるための企業支援を行い、新卒者を含めた新規雇用の拡大に繋げていきたい。また市が保有する土地・建物以外に民間が所有する物件に対しても民間事業者と連携を図りながら誘致に努めたい。
整備されたサテライトオフィス等への個人誘致など、これまでとは異なる誘致も展開していきたい。

※ KPIの評価は、以下の達成状況に応じてAからDを記入する。
 A: KPIに対して実績が100%以上 C: KPIに対して実績が89%~80%
 B: 99%~90% D: 80%未満

第2期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート (令和4年度実施分)

基本目標	基本目標①「働いてよし ひおき」～安心して働ける安定した「しごと」を創出する～		
事業名	⑦農業IoTの活用	担当課名	農林水産課
事業内容	農業IoTを活用し、篤農家の栽培技術を共有し、新規就農者の確保と生産性の向上を図ります。		

単位：円

当該年度の予算執行内容	区分	R2 (1年目)	R3 (2年目)	R4 (3年目)	R5 (4年目)	R6 (最終年)
-	予算額	-	-	-	-	-
		最終予算額	当初予算額			
	執行額	-	-	-	-	-

基本目標における 数値目標	区分		数値目標				
	市内事業者従事者数 (経済センサス)		17,060人 (H28活動調査)		⇒	17,540人 (R6)	
重要業績評価指標状況 (KPI)	KPIの内容	基準値	R2 (1年目)	R3 (2年目)	R4 (3年目)	R5 (4年目)	R6 (最終年)
		3,100kg	KPI	3,100kg	3,150kg	3,200kg	3,250kg
	いちご若手農家の収量 (単収)をいちご部会全 体平均まで向上	実績	3,757kg	3,930kg	R5.9算定予定	-	-
		評価 (A~D)	A	A	-	-	-
		209百万円	KPI	-	220百万円	-	-
	いちご部会全体の単収 を5%アップ	実績	-	330百万円	-	-	-
		評価 (A~D)	-	-	-	-	-
	いちご部会全体の販売 高15%増	KPI	-	-	241百万円	-	-
		実績	-	-	R5.9算定予定	-	-
	評価 (A~D)	-	-	-	-	-	-
当該年度の実績内容 と事業効果	いちご研究会とともに環境制御技術マニュアルを作成し、炭酸ガスの有効活用による 年内収量の増加及び厳寒期の生育促進に努めた。						
※ なるべく数字(金額、人数等)を用いて記入してください。							

取組 の 検証	事業実施における課題 ※ KPI達成に向けた課題や問題となっ ている内容について記入してください。		課題に対する改善策 ※ 課題の対応策を記入してください。
	e-kakashiでのモニタリングは管理の現状が見え る化されたことで生産者の管理に変化が現れてき つつあるが、システム上での管理までは行えてい ない。		マニュアルに基づく作物生理の理解促進とコストを抑えた 環境制御装置の導入による環境制御による効果の最大化を目 指す。

「取組の検証(上記)」を踏まえた今後の方向性
 ※ 課題とその改善方策を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。

部会員への環境制御の定義と制御技術のポイントについて、理解促進に努めるとともに、環境制御を実践された優良事例の収集と技術の周知による単収の高位平準化を図る。

※ KPIの評価は、以下の達成状況に応じてAからDを記入する。

A: KPIに対して実績が100%以上 C: KPIに対して実績が89%~80%
 B: " 99%~90% D: " 80%未満

第2期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート (令和4年度実施分)

基本目標	基本目標①「働いてよし ひおき」～安心して働ける安定した「しごと」を創出する～		
事業名	⑧日置市らしさを感じる魅力と活力あふれるまちづくり計画（林業）	担当課名	農林水産課
事業内容	国道3号・270号を中心に主要地方道や県道にアクセスする市道24路線及び林道2路線の道路拡張等を行うことにより、観光資源を結ぶ効率的な道路網のネットワーク化をはじめ、森林施業における効率化を図ります。		

単位：円

当該年度の予算執行内容	区分	R2 (1年目)	R3 (2年目)	R4 (3年目)	R5 (4年目)	R6 (最終年)
実施設計L=1.0km 立木補償N=1式 工事L=164.5m	予算額	4,620,000	81,996,000	132,227,000	109,156,000	—
	執行額	4,620,000	22,553,000	64,378,415	—	—

基本目標における 数値目標		区分		数値目標				
		市内事業者従事者数 (経済センサス)		17,060人 (H28活動調査)		⇒	17,540人 (R6)	
重要業績評価指標状況 (KPI)	林業の素材生産量	基準値	/	R2 (1年目)	R3 (2年目)	R4 (3年目)	R5 (4年目)	R6 (最終年)
		16,500m³	KPI	16,600m³	16,700m³	16,800m³	16,900m³	17,000m³
			実績	11,256m³	6,389m³	15,063m³	—	—
	評価 (A~D)		D	D	C	—	—	
		KPI	—	—	—	—	—	
		実績	—	—	—	—	—	
		評価 (A~D)	—	—	—	—	—	
		KPI	—	—	—	—	—	
		実績	—	—	—	—	—	
		評価 (A~D)	—	—	—	—	—	
当該年度の実施内容 と事業効果 ※ なるべく数字(金額、人数等)を用いて記入してください。		実施設計L=1.0kmを契約した。 繰越予算において、立木補償N=1式、工事(施工延長L=164.5m)を実施した。						

取組の検証	事業実施における課題 ※ KPI達成に向けた課題や問題となっている内容について記入してください。		課題に対する改善策 ※ 課題の対応策を記入してください。
	平成25年からの5年間で林業就農者が20%程度減少してきている。また高性能林道機械が入らず搬出の際に迂回する現状にあるため、木材搬出が非効率化しており早急な整備が求められている。		林道整備により高性能林道機械等を使用した効率的かつ低コストな施業により林業・木材産業の生産活動の向上を図る。また、国道・県道と繋がる市道との一体化により、観光資源がネットワーク化され観光客数の増加や住民の利便性の向上を図る。

「取組の検証(上記)」を踏まえた今後の方向性 ※ 課題とその改善方策を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。
整備に向け計画的に進めている。

※ KPIの評価は、以下の達成状況に応じてAからDを記入する。
 A：KPIに対して実績が100%以上 C：KPIに対して実績が89%~80%
 B： 99%~90% D： 80%未満

第2期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート (令和4年度実施分)

基本目標	基本目標①「働いてよし ひおき」～安心して働ける安定した「しごと」を創出する～		
事業名	⑨商品開発支援事業	担当課名	商工観光課
事業内容	日置市らしい商品の開発により、ひおきブランドを確立し、地域活性化及び産業の振興を図るため、本市の特色を生かした商品の開発を行う事業者に対し、その商品開発等に係る経費の一部を支援します。		

単位：円

当該年度の予算執行内容	区分	R2 (1年目)	R3 (2年目)	R4 (3年目)	R5 (4年目)	R6 (最終年)
商品開発支援事業費補助金 (商品開発等に係る経費の一部を支援)	予算額	1,000,000 最終予算額	1,000,000 当初予算額	1,000,000 当初予算額	1,000,000 当初予算額	—
	執行額	283,000	943,000	761,000	—	—

基本目標における 数値目標	区分		数値目標					
	市内事業者従事者数 (経済センサス)		17,060人 (H28活動調査)		⇒	17,540人 (R6)		
重要業績評価指標状況 (KPI)	KPIの内容	基準値	R2 (1年目)	R3 (2年目)	R4 (3年目)	R5 (4年目)	R6 (最終年)	
	新商品開発件数(商品開発支援事業費補助金活用件数)	2件/年	KPI	2件	2件	2件	2件	2件
			実績	2件	5件	4件	—	—
		評価(A~D)	A	A	A	—	—	
		KPI		—	—	—	—	
			実績		—	—	—	—
		評価(A~D)		—	—	—	—	
		KPI		—	—	—	—	
			実績		—	—	—	—
		評価(A~D)		—	—	—	—	
当該年度の取組内容と事業効果	令和4年度商品開発支援事業費補助金については、4つの事業者が活用し、本市の特色を生かした商品開発を行った。							
※ なるべく数字(金額、人数等)を用いて記入してください。								

取組の検証	事業実施における課題 ※ KPI達成に向けた課題や問題となっている内容について記入してください。		課題に対する改善策 ※ 課題の対応策を記入してください。
	令和4年度においては、KPIに対して実績が100%以上となった。令和4年度は補助事業を活用した事業者数が昨年と比較し1件減少した。事業の周知や支援を必要とする事業者への適切な支援が課題と考えられる。		

「取組の検証(上記)」を踏まえた今後の方向性
※ 課題とその改善方策を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。

成果・費用対効果を維持し、継続して実施

※ KPIの評価は、以下の達成状況に応じてAからDを記入する。
 A: KPIに対して実績が100%以上 C: KPIに対して実績が89%~80%
 B: " 99%~90% D: " 80%未満

第2期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート (令和4年度実施分)

基本目標	基本目標①「働いてよし ひおき」～安心して働ける安定した「しごと」を創出する～		
事業名	⑩薩摩國広域輸出促進事業	担当課名	商工観光課
事業内容	輸出機運と商機会の造成を推進するため、自主的なターゲット国でのフェアをはじめ、商談会や輸出セミナーを開催するとともに、県貿易協会等と連携した地域産品のプロモーション事業を行うことで、物流構築の強化と観光資源のPRを一体的に展開します。		

単位：円

当該年度の予算執行内容	区分	R2 (1年目)	R3 (2年目)	R4 (3年目)	R5 (4年目)	R6 (最終年)
薩摩國広域輸出促進協議会負担金	予算額	1,000,000 最終予算額	1,000,000 当初予算額	1,000,000	1,000,000	—
	執行額	500,000	964,000	1,000,000	—	—

基本目標における 数値目標		区分		数値目標				
		市内事業者従事者数 (経済センサス)		17,060人 (H28活動調査)		⇒ 17,540人 (R6)		
重要業績評価指標状況 (KPI)	KPIの内容	基準値	R2 (1年目)	R3 (2年目)	R4 (3年目)	R5 (4年目)	R6 (最終年)	
	薩摩國広域輸出促進事業に係る商談数 (R4まで)	2件/年	KPI	2件	2件	2件	—	—
			実績	8件	3件	5件	—	—
			評価 (A~D)	A	A	A	—	—
	薩摩國広域輸出促進事業に係る成約数 (R4まで)	1件/年	KPI	1件	1件	1件	—	—
			実績	4件	20件	15件	—	—
			評価 (A~D)	A	A	A	—	—
	※参考 薩摩國広域輸出促進事業に係る川内港食品輸出取扱い金額	814,073千円 (H30)	KPI	819,073千円	824,073千円	829,073千円	—	—
			実績	466,037千円	207,201千円	258,511千円	—	—
			評価 (A~D)	—	—	—	—	—
※参考 薩摩國広域輸出促進事業に係る売上金額 (フェア)	0円	KPI	200,000円	200,000円	200,000円	—	—	
		実績	543,675円	446,856円	728,914円	—	—	
		評価 (A~D)	—	—	—	—	—	
当該年度の実施内容 と事業効果	薩摩川内市及び阿久根市、本市の3市で薩摩國広域輸出促進協議会を設立し、事業開始。令和4年度は、貿易への機運等を高めるため、事業者向けの「貿易促進セミナー」を阿久根市で開催。また、県と連携し「うんまか鹿児島輸出商談会」をオンラインで実施し、台湾で展開する百貨店でトップセールスによる物産展も開催した。							
取組の検証	事業実施における課題			課題に対する改善策				
	※ KPI達成に向けた課題や問題となっている内容について記入してください。			※ 課題の対応策を記入してください。				
	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、昨年は見送られた市長によるトップセールスを行う事が出来たが、フェアの際に出品した商品が、継続して商品が売れているかどうか不明瞭である。			フェア後も継続して取り扱われていけるような仕組みづくりやトップセールスに限らずECサイトやライブコマース等のオンラインを活用した新たな取り組みにも挑戦していく必要がある。				
「取組の検証（上記）」を踏まえた今後の方向性								
※ 課題とその改善方策を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。								
ターゲット国としては、日本産農林水産物の主力輸出先であるASEAN地域の中心となる国を重視し、そのターゲット国への海外輸出プロモーション事業や、ジェトロ鹿児島・鹿児島県等と連携及び協力した事業を展開予定。また、「afterコロナ」を見据え、オンラインを活用した商談についても今後は積極的に行っていく。								

※ KPIの評価は、以下の達成状況に応じてAからDを記入する。
 A：KPIに対して実績が100%以上 C：KPIに対して実績が89%~80%
 B： 99%~90% D： 80%未満

第2期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート (令和4年度実施分)

基本目標	基本目標①「働いてよし ひおき」～安心して働ける安定した「しごと」を創出する～		
事業名	①オリーブ産業プロジェクト	担当課名	農林水産課
事業内容	新たな産業創出として始まったオリーブを生産・加工・流通までの6次産業化の更なる体制を構築させることで、担い手農家のための基幹作物の位置付けをはじめ、新商品開発やイベントを通じた消費喚起による地域経済の活性化を図ります。		

単位：円

当該年度の予算執行内容	区分	R2 (1年目)	R3 (2年目)	R4 (3年目)	R5 (4年目)	R6 (最終年)
試験圃場の管理、部会運営補助、小豆島からの講師謝金、全国オリーブサミットinひおき運営費、栽培技術デジタル化事業業務委託	予算額	3,889,000	14,680,000	9,247,000	3,387,000	—
	執行額	3,540,000	10,586,000	8,701,898	—	—

基本目標における 数値目標	区分		数値目標					
	市内事業者従事者数 (経済センサス)		17,060人 (H28活動調査)			⇒ 17,540人 (R6)		
重要業績評価指標状況 (KPI)	KPIの内容	基準値	R2 (1年目)	R3 (2年目)	R4 (3年目)	R5 (4年目)	R6 (最終年)	
	オリーブの植栽本数	650本	KPI	720本	790本	860本	930本	1,000本
			実績	362本	74本	52本	—	—
		評価 (A~D)	D					
	オリーブの収穫量	4,020kg	KPI	5,832kg	7,644kg	9,456kg	11,268kg	13,080kg
			実績	499kg	2326kg	2,460kg	—	—
		評価 (A~D)	D					
オリーブ栽培農家数	10人/年	KPI	10人	10人	10人	10人	10人	
		実績	11人	2	4	—	—	
	評価 (A~D)	A						
当該年度を取組内容と 事業効果	令和4年度は、梅雨入りが例年より10日程度遅くなったことで、受粉の期待が高まったが品種間で開花の格差が発生し、受粉にばらつきが生じた。収穫量は、前年度2,326kgに対して2,460kgであった。オイルの搾油については、従来より鮮度を重視しフレッシュなオイルを目指し若い実を収穫したことにより、搾油率が7.18%から6.15%となった。							

取組の検証	事業実施における課題 ※ KPI達成に向けた課題や問題となっている内容について記入してください。	課題に対する改善策 ※ 課題の対応策を記入してください。
	収穫は、天候等の影響を受けやすいため、台風対策等及び適期管理作業の周知 新規栽培農家への推進及び既存農家の収穫量の確保が課題である。	薬剤散布による病害虫被害からの樹体及び実を守るため、試験圃場はもとより部会員圃場で適期管理対策を月1回周知する。 適期管理作業のための定期的な巡回を行い、個別指導を行う。 DX技術(栽培技術の映像)を配信し、部会員の技術向上を図る。 新規栽培希望者向けに説明会を実施する。

「取組の検証(上記)」を踏まえた今後の方向性
※ 課題とその改善方策を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。
<ul style="list-style-type: none"> ・DX技術等を活用した各時期ごとの管理作業の周知及び技術の確立。 ・ほ場巡回による適期作業の栽培指導。 ・総収量の向上に向けて1本当たりの収量増を目指す。

※ KPIの評価は、以下の達成状況に応じてAからDを記入する。
 A：KPIに対して実績が100%以上 C：KPIに対して実績が89%~80%
 B： 99%~90% D： 80%未満

第2期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート (令和4年度実施分)

基本目標	基本目標②「住んでよし ひおき」～若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる～		
事業名	⑮ひおきふるさと教育の推進	担当課名	学校教育課
事業内容	本市の伝統文化、人物、自然や産業といった魅力ある素材を学習内容とした授業を展開し、児童生徒がふるさとに対する理解を深め、その学習活動を通して、「礼節」、「郷土愛」、「自然愛」、「奉仕」といった道徳性を身につけられるよう風格ある教育を推進します。		

単位：円

当該年度の予算執行内容	区分	R2 (1年目)	R3 (2年目)	R4 (3年目)	R5 (4年目)	R6 (最終年)
印刷製本・補助金	予算額	2,524,000	2,991,000	2,534,000	2,693,000	—
	執行額	1,923,220	2,410,138	2,450,332	—	—

基本目標における 数値目標	区分	数値目標				
	合計特殊出生率 (5年平均)	1.62 (H29) ⇒ 1.68 (R6)				

重要業績評価指標状況 (KPI)	KPIの内容	基準値	区分				
			R2 (1年目)	R3 (2年目)	R4 (3年目)	R5 (4年目)	R6 (最終年)
子どもが地域の行事に参加した割合 (全国学力・学習状況調査) 小学生	県平均 72.7%	KPI	72.70%	72.70%	72.70%	72.70%	72.70%
		実績	—	80%	73.1	—	—
		評価 (A~D)	—	A	A	—	—
子どもが地域の行事に参加した割合 (全国学力・学習状況調査) 中学生	県平均 54.2%	KPI	54.20%	54.20%	54.20%	54.20%	54.20%
		実績	—	53.60%	43.50%	—	—
		評価 (A~D)	—	B	C	—	—
「ひおき学」に係る市民への周知 (情報発信)	2回/年	KPI	2回	2回	2回	2回	2回
		実績	2回	7回	8回	—	—
		評価 (A~D)	A	A	A	—	—
当該年度の実績と事業効果	「ひおき学」「環境」等の学習ブックを配布し、各学校で指導を行った。また、「わが町ひおき検定」を行い、全校 (22校) で2243人 (前年度+701) の児童生徒が取り組んだ。なお、小中一貫教育に係る学校間兼務は、67件 (前年+20件) だった。さらに、日吉学園校区・伊集院中校区・伊集院北中校区のそれぞれの校区において、合計225人の学校関係者に研究の成果を披露した。						

取組の検証	事業実施における課題 ※ KPI達成に向けた課題や問題となっている内容について記入してください。	➔	課題に対する改善策 ※ 課題の対応策を記入してください。
	今後は、アフター・コロナに向けて、小中一貫教育や職員研修の更なる充実を図る。		小・中一貫教育に関する全体研修を年2回、中学校区ごとの研修を年3回 (6月, 8月, 2月) 計画し、児童生徒の実態に即した細やかな「ひおき学」が実現できるようにPDCAサイクルに則った運営を行う。

「取組の検証 (上記)」を踏まえた今後の方向性

※ 課題とその改善方策を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。

- ・ 小中一貫教育の研修会において、それぞれの学校の取組内容を共有できる機会を作る。
- ・ 「小・中一貫教育」に係る3つの校区 (吹上中校区 (R6~R7)、土橋中校区 (R5~R6)、東市来中校区 (R5~R6)) の2年間の取組を計画的に行い、研究の成果を日置市の教職員に還元する研究公開を令和6年度以降に計画する。

※ KPIの評価は、以下の達成状況に応じてAからDを記入する。

A : KPIに対して実績が100%以上	C : KPIに対して実績が89%~80%
B : " 99%~90%	D : " 80%未満

第2期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート (令和4年度実施分)

基本目標	基本目標④「ふれあいあふれてよし ひおき」～地域の連携を深め、若者から高齢者まで、安心して暮らせるまちをつくる～		
事業名	㊤生ごみ回収事業	担当課名	市民生活課
事業内容	家庭などから排出される生ごみを回収し、堆肥化することで、環境にやさしい循環型社会を目指します。		

単位：円

当該年度の予算執行内容	区分	R2 (1年目)	R3 (2年目)	R4 (3年目)	R5 (4年目)	R6 (最終年)
生ごみの回収、堆肥化に伴う委託料及び報償金	予算額	67,504,000 最終予算額	70,067,000 当初予算額	73,186,000	79,968,607	—
	執行額	66,790,190	61,809,809	73,185,180	—	—

基本目標における 数値目標		区分		数値目標					
		市民アンケート満足度 (日置市の住みやすさ)		70.5% (R1)		⇒		75.0% (R6)	
重要業績評価指標状況 (KPI)	KPIの内容	基準値	/	R2 (1年目)	R3 (2年目)	R4 (3年目)	R5 (4年目)	R6 (最終年)	
	生ごみ回収対象世帯数	12,929戸 (H30)	KPI		13,000戸	14,400戸	15,800戸	17,200戸	18,600戸
			実績		13,747戸	13,973戸	14,319戸	—	—
		評価(A~D)		A	B	B	—	—	
	生ごみ回収量	1,050 t (H30)	KPI		1,174t	1,298t	1,442t	1,569t	1,697t
			実績		1,010t	1,027t	1,074t	—	—
		評価(A~D)		C	D	D	—	—	
			KPI		—	—	—	—	—
			実績		—	—	—	—	—
		評価(A~D)		—	—	—	—	—	
	当該年度の取組内容と事業効果		事業参加世帯は微増傾向にあり、SDGSの普及による効果も出ている、市民が燃やさずリサイクルすることを選択し、CO2の排出抑制に大きく理解と協力を頂いている結果が出ている。地域差があるものの、今まで取組んでいない地域からも事業に参加したいなどの話を聞き、説明回答を行いながら6自治会346世帯が新たに事業に取組結果となった。また事業開始からの生ごみのリサイクル量は6,500tを超え大きく地球温暖化防止に貢献出来ている。						
	※ なるべく数字(金額、人数等)を用いて記入してください。								

取組の検証	事業実施における課題 ※ KPI達成に向けた課題や問題となっている内容について記入してください。		課題に対する改善策 ※ 課題の対応策を記入してください。
	人口の自然減もあるがごみステーションからの可燃ごみの量が毎年前年度比を下回っている状況。生ごみの回収量は4年間は安定して1,000tを超え回収リサイクルされているが、やはり食品ロスの問題が懸念されるので継続して問題の解決を図りたい。		

「取組の検証(上記)」を踏まえた今後の方向性

※ 課題とその改善方を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。

昨年度はSDGSが普及し、市民の理解と協力が更に大きくなったように感じる中でも、未だに事業に取り組むことが新たなごみ出しの負担になるなどの消極的な意見も聞くことがあるので、様々な場面を通じて、この事業の良さをアピールしながら目標の達成に向けて取組む必要性を感じる。

※ KPIの評価は、以下の達成状況に応じてAからDを記入する。
 A: KPIに対して実績が100%以上 C: KPIに対して実績が89%~80%
 B: " 99%~90% D: " 80%未満

